

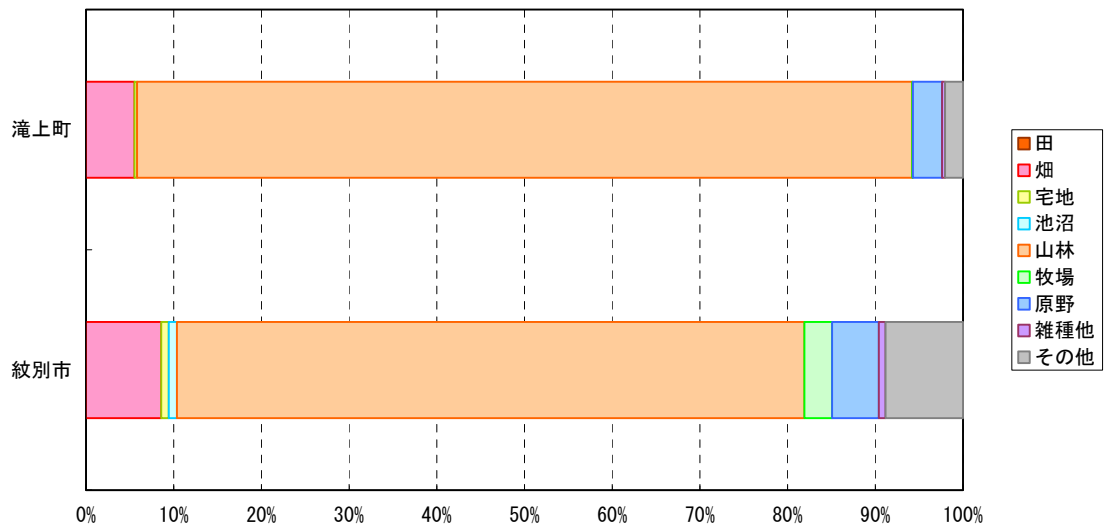
3. 流域の社会条件

3-1 土地利用

流域自治体の土地利用の状況は、以下のとおりであり、総面積 1,597,24km²のうち、山林の占める割合が約 80%で最も多く、続いて農用地の約 7%となっている。

山林は上流の滝上町で総面積の約 88%に対し、下流域の紋別市は約 72%となっている。

農用地は滝上町で約 6%、紋別市で約 12%となっており、水田は両市町ともに無く、畑作地として利用されている。



出典:平成 17 年北海道市町村勢要覧 (平成 15 年 1 月 1 日)

図 3-1 流域自治体の土地利用状況

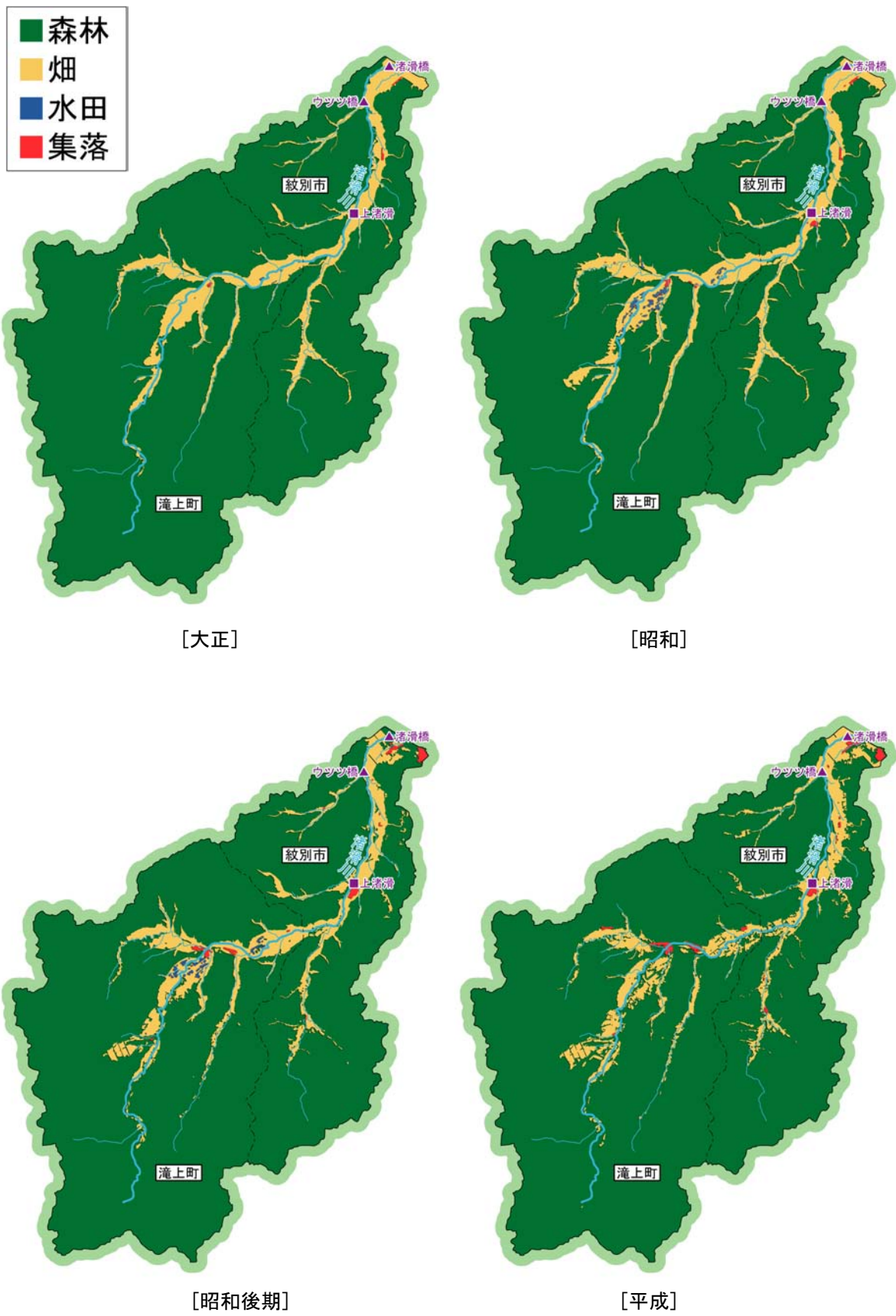


図 3-2 土地利用の経年変化

3-2 人口

渚滑川流域は、紋別市、滝上町の1市1町からなる。流域関係町村の総人口は平成17年で29,997人となっており、昭和28年からの推移は表3-1のとおりである。

流域関係市町村の総人口の増減比は昭和28年に対し平成17年は約64%となっているが、現在も減少傾向にある。

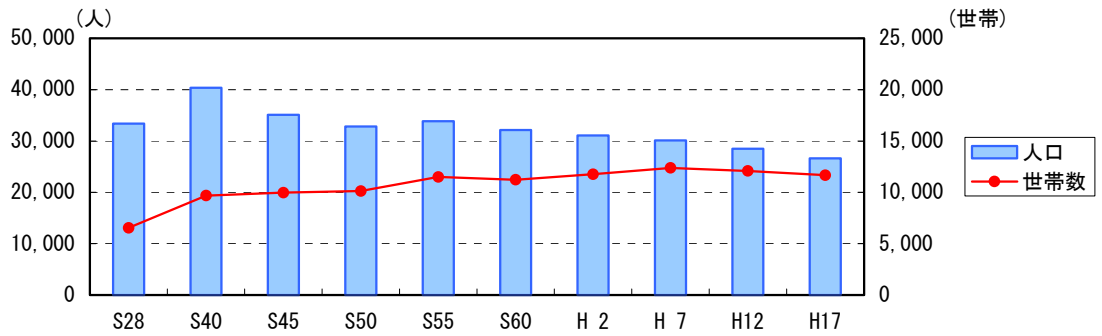
表 3-1 流域内人口

| 区分 | 紋別市 | 滝上町 | 合計 |
|------------------------------|--------|--------|----------|
| 面積 (km ²) | 830.36 | 766.89 | 1,597.25 |
| 総人口 (人) | 26,631 | 3,366 | 29,997 |
| 世帯数 (世帯) | 11,670 | 1,478 | 13,148 |
| 人口密度 (人/km ²) | 32.1 | 4.4 | 18.8 |

※1 面積の出典：平成17年北海道市町村勢要覧（平成15年1月1日）

※2 総人口、世帯数の出典：平成17年国勢調査（平成17年10月1日）

紋別市



※ 昭和29年7月1日 紋別町・渚滑村・上渚滑村と対等合併

(出典：国勢調査)

図 3-3 紋別市の人口・世帯数の推移

滝上町

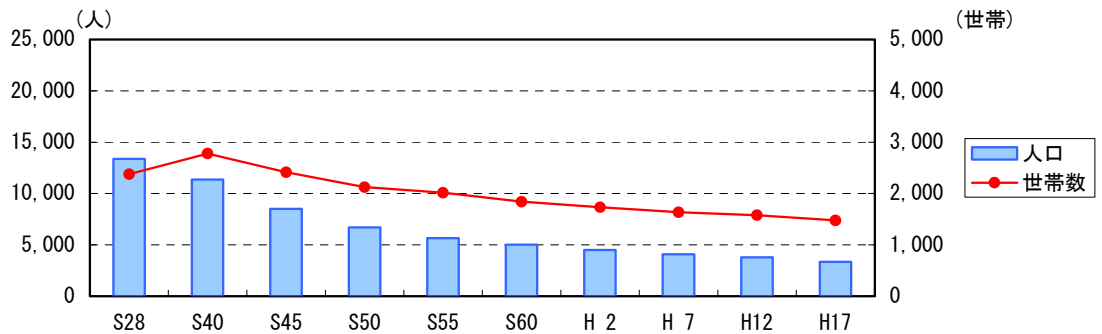


図 3-4 滝上町の人口・世帯数の推移

(出典：国勢調査)

合計

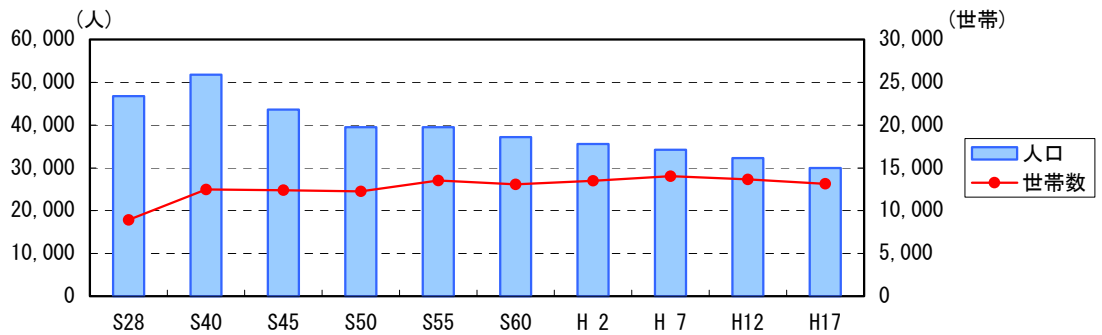


図 3-5 流域関係市町村の人口・世帯数の推移

(出典：国勢調査)

3-3 産業・経済

流域内の産業別就業人口の推移を見ると、流域の産業は農林業を主体とし、河口の紋別市では漁業も盛んであったが、近年の第一次産業の衰退により、第一次産業人口が昭和26年に比べ平成12年では、8,293人から1,650人と約20%に減少しているが、第二次産業は約1.15倍、第三次産業人口は約2.4倍と高い伸びを示している。

第一次産業就業人口を市町村別で見ると、滝上町で比較的高く約19%となっており、紋別市では約9%程度である。

第二次産業就業人口は各市町とも30%前後となっており、第三次産業就業人口は紋別市で約60%、滝上町でも約54%と高い比率を占めている。

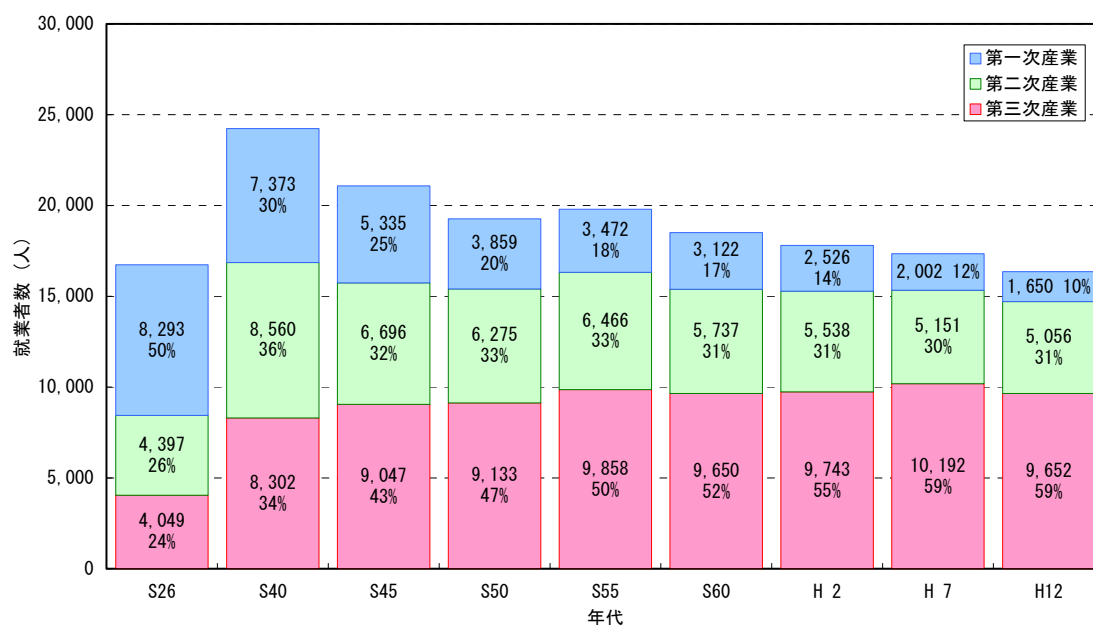


図 3-6 産業3部門別就業者数の推移

表 3-2 産業別就業人口と構成比

(単位:人)

| 市町村 | 区分 | | | 総数 |
|-----|---------|---------|-----------|-----------|
| | 第一次産業人口 | 第二次産業人口 | 第三次産業人口 | |
| 紋別市 | 1,296 | 4,561 | 8,661 | 14,518 |
| | 8.9% | 31.4% | 59.7% | 100.0% |
| 滝上町 | 354 | 495 | 991 | 1,840 |
| | 19.2% | 26.9% | 53.9% | 100.0% |
| 全道 | 217,908 | 602,859 | 1,881,089 | 2,701,856 |
| | 8.1% | 22.3% | 69.6% | 100.0% |

※1 下段は構成比率(%)

※2 出典：平成17年北海道市町村勢要覧（平成12年10月1日）

3-4 交通

産業の基盤となる幹線交通系統のうち道路網は、オホーツク海沿いを結ぶ国道 238 号線、紋別市から渚滑川に沿って滝上町を通り上川支庁の上川町へ通じる国道 273 号線があり、オホーツク各都市間と道内各地を結ぶ交通体系に貢献している。

航空交通網は昭和 41 年に開港し、平成 11 年 11 月に現在の位置に移設され、第三種空港として供用開始された紋別空港が存在する。2,000m 級滑走路が供用され東京間の定期運航がなされており、平成 15 年の輸送実績は乗降客 6 万 8 千人、貨物数 10t となっている。

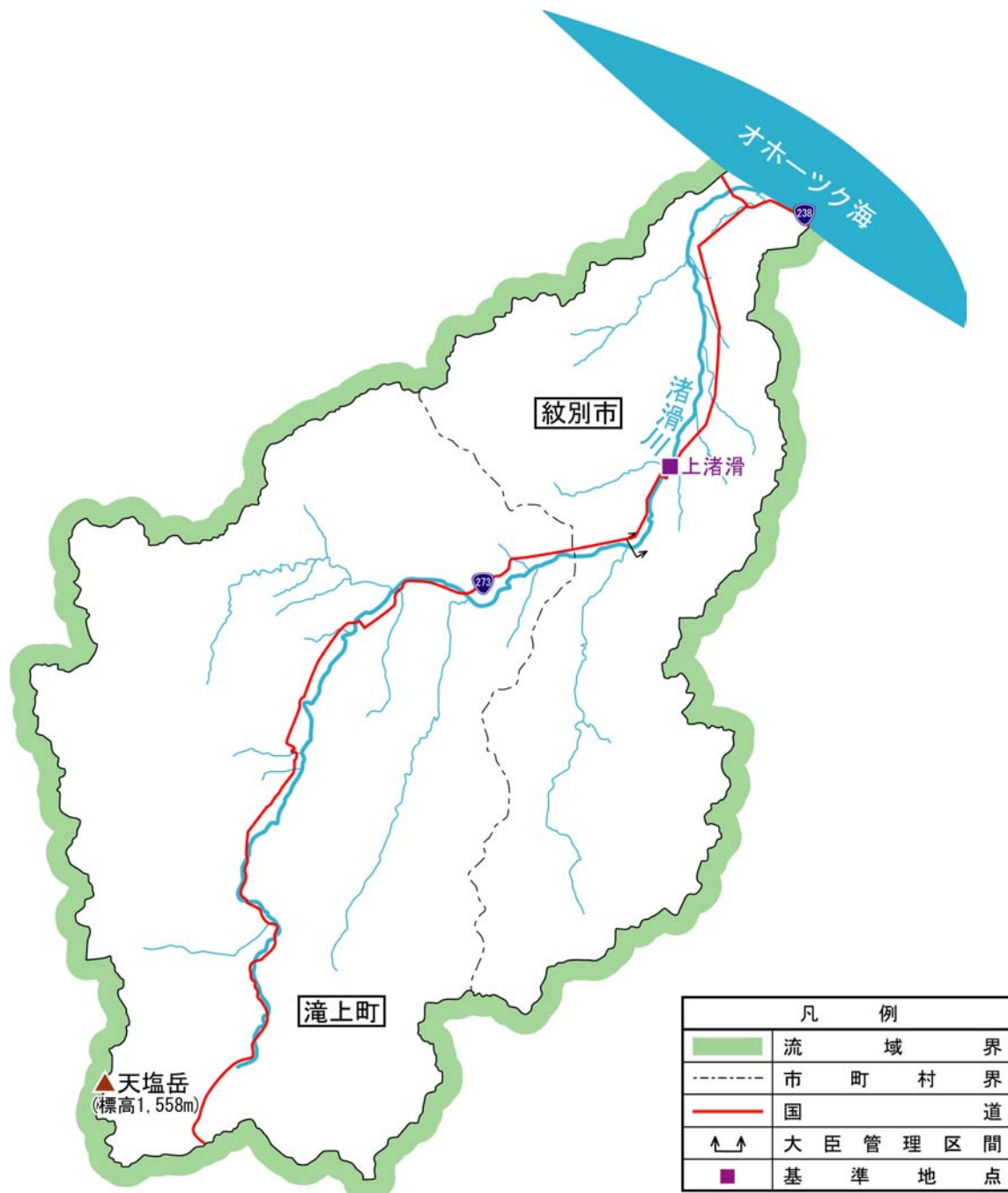


図 3-7 渚滑川流域における道路・鉄道網位置図

3-5 関係ある法令の指定状況

3-5-1 第6期北海道総合開発計画

北海道総合開発計画は、行政改革や国際化、地球環境問題への知見の集積等の大きな情勢の変化を受け、地球規模に視点をおいた食料基地、北の国際交流圏の形成、観光・保養基地の形成や北海道が有する美しく雄大な自然環境の保全、安全でゆとりのある生活環境の創造を目的としている。

これらの目的を重点的・効率的に推進してゆくための一方針として広域的・複合的な地域プロジェクトの推進を掲げており、複数の市町村が連携を図り、総合的に取り組むプロジェクトを支援してゆくものとしている。この地域プロジェクトの中には、河川事業に直接あるいは間接的に関連するものも少なくない。

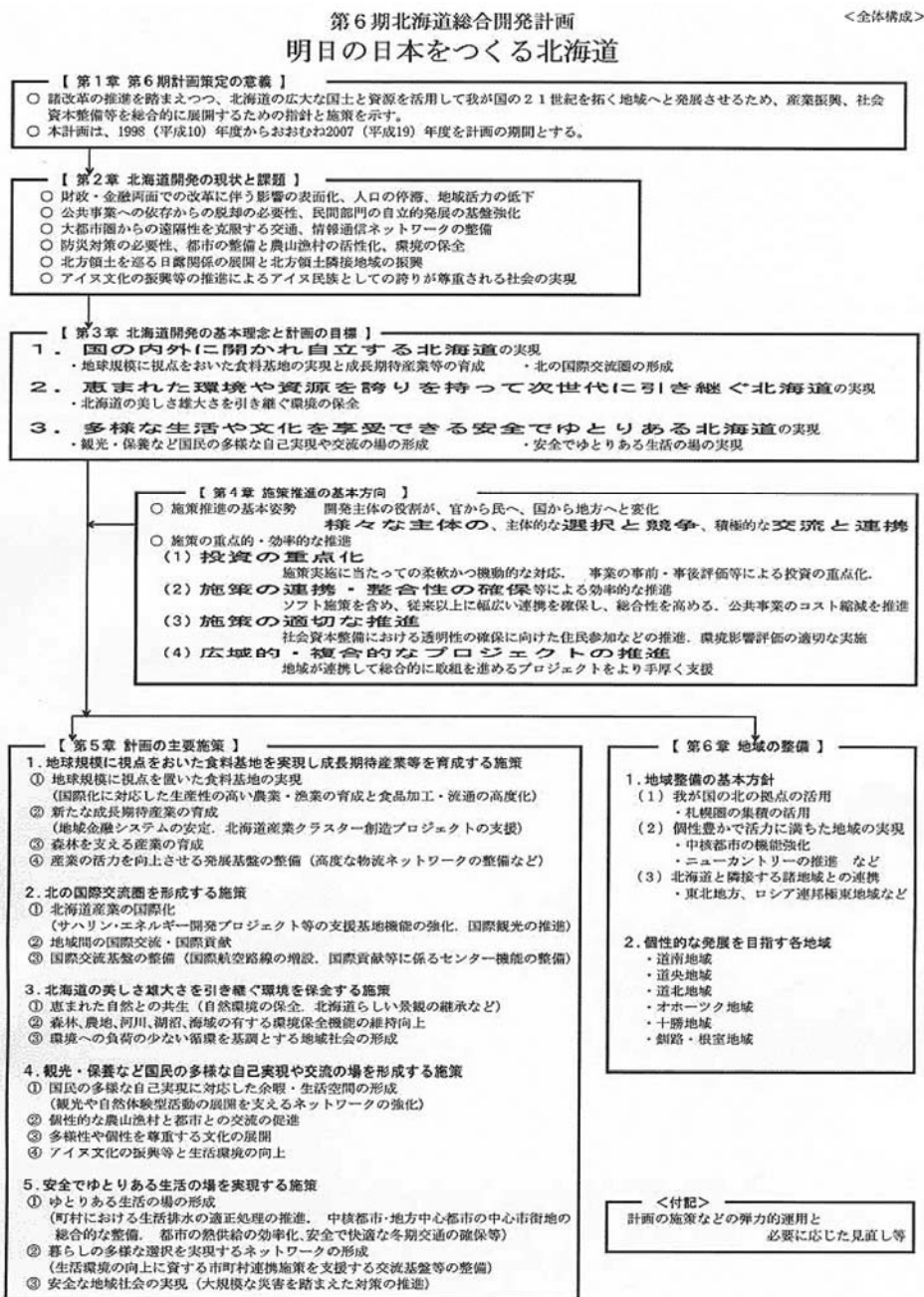


図 3-8 第6期北海道総合開発計画

出典：北海道局 HP

3-5-2 都市計画

渚滑川流域は、紋別市・滝上町の1市1町となっている。紋別市では5,207ha、滝上町では1,466haが都市計画区域に指定されている。

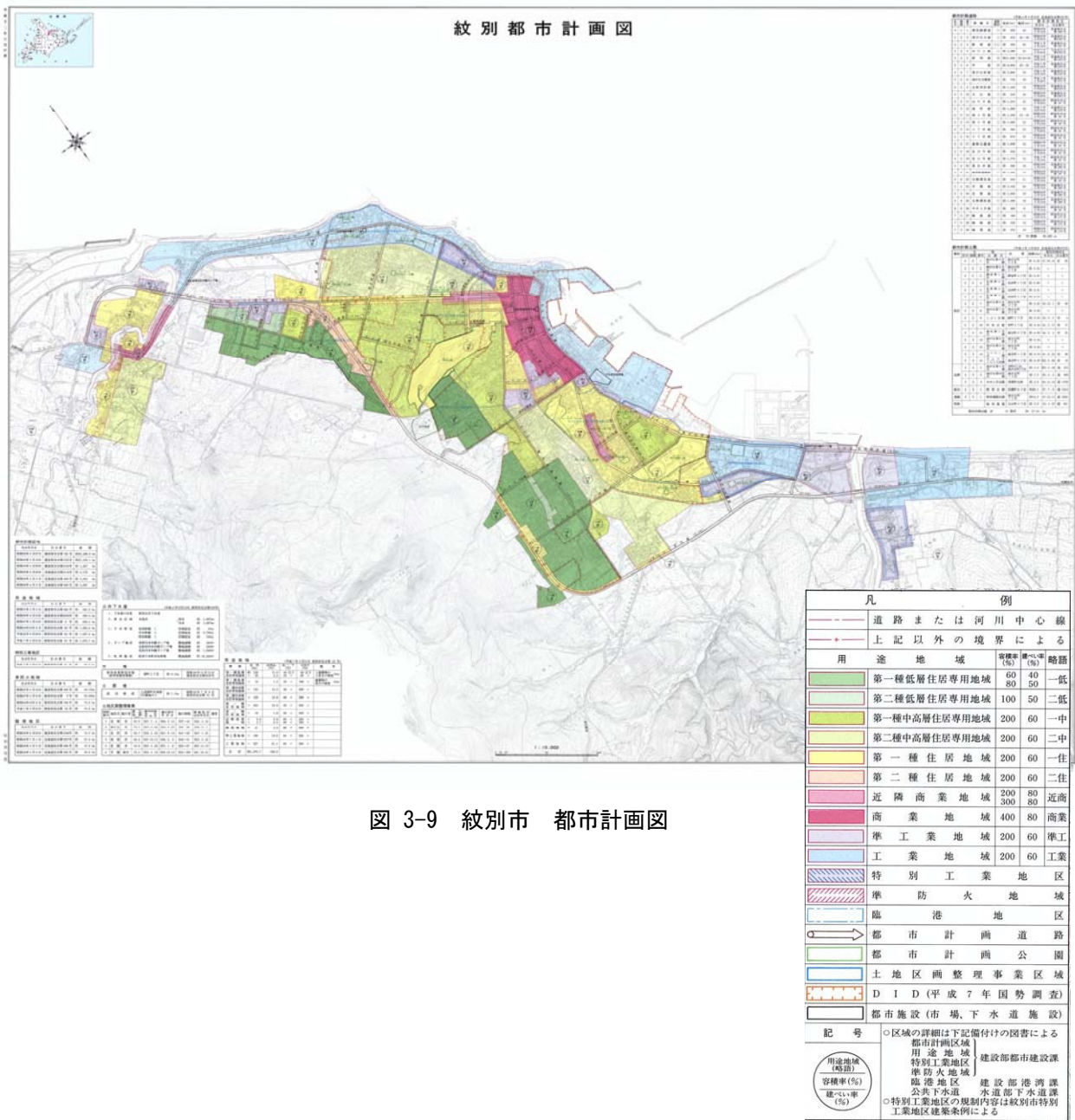


図 3-9 紋別市 都市計画図